

令和6年度第1回東郷町地域公共交通会議 議事録

日時 令和6年6月12日(水)
午後3時から午後5時まで
場所 東郷町役場2階 大会議室

出席者(敬称略・順不同)

	役職	所属等
1	会長	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授
2	副会長	東郷町都市環境部長
3	委員	諸輪地区代表
4	委員	祐福寺地区代表
5	委員	白土地区代表
6	委員	和合ヶ丘地区代表(代理出席)
7	委員	名鉄バス(株) 運輸本部交通企画官
8	委員	公益社団法人 愛知県バス協会 専務理事
9	委員	瀬戸自動車運送(株) 取締役
10	委員	名古屋タクシー協会 専務理事
11	委員	愛知県交通運輸産業 労働組合協議会幹事(代理出席)
12	委員	国土交通省中部運輸局 愛知運輸支局首席運輸企画専門官
13	委員	愛知県都市・交通局 交通対策課担当課長(代理出席)
14	委員	愛知県尾張建設事務所 維持管理課長
15	委員	東郷町健康福祉部長
16	委員	日進市生活安全部 防災交通課 移動政策室長
17	委員	みよし市都市建設部 都市計画課長
18	委員	豊明市行政経営部 企画政策課長

欠席者 2名(御岳地区代表、愛知県愛知警察署 交通課警部)、傍聴者 10名

1 町長あいさつ

- 先の町長選挙並びに3期10年に渡る町議員生活の中で、私自身公共交通に関しては非常に多くの町民から御意見をいただいていた。公共交通に関しては、運転手不足等の2024年問題もあり、実際に「誰一人取り残さない公共交通」を作っていくというのはなかなか難しいが、やはり町民の方の声、各地域での声というのは非常に多いところである。公共交通会議にお集まりの皆様の忌憚のない御意見と知見をいただき、御指導をいただきながら「誰一人取り残さない公共交通」を目指していきたい。ともに東郷町の地域交通がよりよくなるように皆様のお力をお貸しいただきたい。

2 委嘱状交付

- 委員に委嘱状を交付。
- 委員互選により、会長を選出（名城大学理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授を会長に選任）。
- 会長指名により副会長を選出（町都市環境部長を副会長に選任）。
- 会長指名により監事を選出（白土地区代表、町健康福祉部長の2名を監事に選任）。

3 会長あいさつ

- 持続可能自治体として東郷町の名前があがっている。公共交通に対する期待がある中、よりよい交通を作っていくことが大変重要。そこに対して町長から話があった「誰一人取り残さない公共交通」は大変重要な概念である。今一度ともに作り上げてきた東郷町の交通体系が誰一人取り残さないようになっているのかどうか、新しい体制のもとで確認していきながら良い方向をいつまでも追い求め続けることが重要である。何よりもこの公共交通会議とは、地域にふさわしい公共交通を作り上げていく場であり、ゴールはない。人の動き、人の年齢構成、施設の配置も変わっていくため、それらに合わせる形で見直すべきものは見直し、続けるものは続ける必要がある。

4 議題

- (1) 令和5年度事業報告について（資料1）

【事務局説明】

- (2) 令和5年度歳出予算に係る予算の流用報告及び歳入歳出決算報告について（資料2-1、2-2）

【事務局説明及び監事による監査報告】

※ 議題(1)及び(2)について、委員の承認を得た。

(3) 地域公共交通計画認定申請について（資料 3-1、3-2）

【事務局説明及び国土交通省中部運輸局愛知運輸支局による補足】

<諸輪地区代表>

- ・ 資料 3-2 に東コースの記載がないことについて説明を求める。

<事務局>

- ・ 東コースについては地域公共交通確保維持事業の対象外であり、補助金を申請していない。東コースは「元気な愛知の市町村づくり補助金」を申請している。

<会長>

- ・ 補助の対象となる条件があり、町が運行しているものすべてが国の補助対象となるわけではない。
- ・ 補助金交付には公共交通会議での計画、自己評価等が必要。我々が目指さなければいけないのは目標値であり、各々が目標を達成するための事業が書かれているため、確認と十分に審議していただく必要がある。
- ・ 東郷町の場合は、計画に位置付けた巡回バスの全路線の目標値を達成しており、より高い目標をとということで新たな事業目標値を掲げている。

<諸輪地区代表>

- ・ 乗車人数を追求することと、福祉を充実することの両方が公共交通に求められるはずだが、ただいまの説明を聞くと乗車数が多いコースが優先的になると錯覚するがいかが。

<会長>

- ・ 例えば町長の言う「誰一人取り残さない公共交通」は SDG s のゴールになっている。非常に重要な概念であり、どこの自治体も目指すべき姿だが、公共交通と福祉交通の線引きはしていかなければならない。この線引きが非常に難しく、決まりがあるわけでもなく、福祉関係部局に参加していただきながら調和のとれた形ですすめていく、ということである。
- ・ 但し、国の補助要件であまりにも乗車数が少ないところは補助対象にはならないとなっているため、ある程度公共性を考えた場合には数字も目標として設定せざるを得ない。数だけを求めているというわけではない。

<国土交通省中部運輸局愛知運輸支局>

- ・ 国の補助制度について、数字が出ないといけないのかというと、そういうことではない。地域にとってふさわしい公共交通を考えていただき、計画に位置付けしていただく。補助金は補助要件に合致するものに補助されるが、だからといって誰も乗らないところに補助をするというわけにもいかない。例えばほぼ少数しか乗らないが地域にとって必要だということであればそれを説明していただき、機能を果たすような計画を立てていただく。計画が実行できているということを確認するた

めの目標値として人数等が出てくる。必ずしもすべての目標が達成しないと補助金が出ないというわけではないが、生産性の向上や効率が上がるよう地域での取り組みが必要となる。

※ 議題(3)について、委員の承認を得た。(計画提出にあたり修正が必要となった場合は会長に一任)

(4) 地域公共交通計画の評価等結果について(資料4)

【事務局説明】

※ 資料4「巡回バスの満足度」25.1%を29.8%に修正

<会長>

- ・ 地域交通法が改正され、年に1回各協議会において評価する必要がある。未達成の項目がいくつかあるが、東郷町については令和8年度に向けての中間評価となる。

※ 議題(4)について、委員の承認を得た。

5 その他

(1) 東郷町コミュニティバス、デマンドタクシー及び名鉄バス東西線の利用状況について(資料5-1、5-2、5-3)

【事務局説明】

<諸輪地区代表>

- ・ 名鉄バス東西線について、運行ルート変更の可能性はあるか。

<事務局>

- ・ 過去に名鉄バス押草団地路線が廃線となった際に、住民からの強い要望により名鉄バスと協議して走らせることとなった路線である。路線経路については未来永劫変わらないというわけではなく、利用状況、運行事業者の状況や意見等があるため、現段階では、変わらないということも、すぐが変わるということもない。

<諸輪地区代表>

- ・ イオンから尾三消防に新たな道ができた。諸輪の東側について、大きな会社ができ従業員が使えるような状況になりつつある。特に諸輪の東側は公共交通がまったくない地帯になるため、あわせてそちらに路線があるとありがたい。また時期がきたら改めて話をさせていただく。

<会長>

- ・ 東西線は最近利用がやや増えているが決して多いわけではなく、何らかの利用促進を

含めて改善が必要な路線である。通勤に使う等利用者が増える可能性があり、新しい道路ができて東の方へ運行できるのであれば検討に値するため、また交通事業者と検討するように。

<和合ヶ丘地区代表>

- ・ 和合ヶ丘は巡回バスの北コースと名鉄バス東西線の両方が通る。私自身巡回バスは何度か乗ったことがあるが、イオンのコースは正直存じ上げない。巡回バスはららぽーと愛知東郷から日進駅に向かう人で車内がにぎわっている印象がある。東西線について周知をするために回覧板で回せる何かをいただけると良い。高齢者はコミュニティセンターに集まり、中には運転免許返納者も多いため、コミュニティセンターに掲示できるものがあると良い。
- ・ 巡回バスについて、幼い子供と乗ることが多いが、用事が夜にかかると終バスを過ぎてしまうことを考え、車を選択する。人員等の都合により容易に終バスの時間を遅らせてほしいとは言えないが、検討していただきたい。

<会長>

- ・ 年度切り替わり時の各地区への周知方法は。

<事務局>

- ・ 巡回バスについてはバスマップを各地区へ配布している。名鉄バス東西線については御指摘のとおりのため、地区への配布、回覧を含めて周知を検討させていただく。

<会長>

- ・ バスマップは毎年度配布している一方、東西線については必ずしも周知がされていない。東西線に関わらず、全体を知っていただくのは大切なことであるので案内チラシ等を作っていただき地区代表の方は周知のお手伝いをしていただければ。
- ・ 今は検索を利用する方が多い。便利な検索アプリがあるが、名鉄さんいかがか。

<名鉄バス(株) 運輸本部地域交通部地域交通課>

- ・ 名古屋鉄道から CentX というアプリがリリースされた。およそ 100 万ダウンロードされた人気のアプリである。コミュニティバスや鉄道を含めて検索が可能のため活用いただきたい。
- ・ 東郷町でも導入している GTFS というシステムがある。グーグルマップ上で二点間で検索すると最適ルートがわかる。わざわざバス会社のホームページから検索しなくてもよく、こちらも活用いただければ。

<会長>

- ・ CentX、GTFS について、町からも案内できると良い。バスマップに検索できると記載するのも一つの策かと。DX と公共交通は相性がよく、地域の交通網の維持につながる。
- ・ 子育て世代の意見の反映も重要なため、町としても視点を持ってほしい。
- ・ 巡回バスは全体としては順調な状況。東西線はコロナ禍前までには回復していない。

デマンドタクシーは徐々に利用が増えている状況だが、一部で 200 回を超える利用者がいる。このヘビーユーザーが原因で他の利用者が利用できなくなるという状況が発生すると問題だが、現在の状況はいかがか。

<事務局>

- ・ 事業者を確認したところ、予約しようとして電話したがタクシーがつかまらなかった割合は現状 5%程度だと聞いている。

<会長>

- ・ 5%を上回るようであれば対策を検討する必要がある。

(2) 令和 6 年度東郷町地域公共交通計画に関する事業計画について（資料 6）

【事務局説明】

<国土交通省中部運輸局愛知運輸支局>

- ・ 昨年度実施したバスフェスティバルのような尾三地区でのイベントの予定はあるか。

<事務局>

- ・ 本年度は日進市が幹事自治体としてすすめていく。実施の予定だが具体的な内容等については未定。

(3) サイクル・アンド・ライド実証実験延長について（資料 7）

【事務局説明】

<会長>

- ・ どのように広報を行っているか。

<事務局>

- ・ ホームページ、広報誌に掲載している。ららぽーと愛知東郷のホームページでも掲載している。

<会長>

- ・ SNS での広報については。

<事務局>

- ・ 未実施。

<会長>

- ・ その理由は。

<事務局>

- ・ 基本的な広報媒体として広報誌、ホームページが有力と考えている。SNS については対応不足。

<会長>

- ・ 若い世代に情報を届けるには SNS が有効かと思うので検討してほしい。

<国土交通省中部運輸局愛知運輸支局>

- ・ 夏季における利用状況を確認するためという理由だが、確認する理由の主旨は。

<事務局>

- ・ ららぽーと愛知東郷が商業施設であるため、夏休み中やGW等の利用数の増減や客層の変化がある。駐輪場が対応できるか、状況の変化や問題がないか等、ららぽーと愛知東郷の施設管理面から確認する必要があるため。

(4) その他

<事務局>

- ・ 前回の会議で会長から指示のあった諸輪小学校の送迎実態を調査してきた。児童の下校時間については低学年、高学年、全校一斉下校時間についてそれぞれ、登校時間については朝の7時45分から8時25分の間現地調査を行った。その結果、懸念されていた問題は確認されなかった。

<会長>

- ・ 天候の影響や日によって多少の変動はあるが、少なくとも調査の際は渋滞の発生はみられなかったと。地元の方の意見を事実として捉えながら、問題の発生する状況を検討していく必要がある。引き続き情報収集をお願いしたい。

<諸輪地区代表>

- ・ 本日は今年度初の公共交通会議ということで目的は国からの補助金の申請のための会議と承知している。最近の情勢の変化も踏まえて私の意見を述べさせていただく。
- ・ 現在諸輪地区での最大関心事は、巡回バスについてである。令和3年のバスの再編は、平成30年の前町長の公約である、「子育て世代に優しく」、「高齢者に優しく」、「生活に優しく」という3つの優しさのうち、公共交通は「生活に優しく」に沿ったものではなかったのか。諸輪、諸輪住宅、北山台地区住民にとって、まさに青天の霹靂であった。今まで生活の足としてきたが、6～7割の大幅減便に加え、2021年2月には公民館の隣にあったJA諸輪支店も閉鎖され、出入金もバス無くしてはできない。また、今年1月に唯一あったコンビニが閉店し、車を持たない住民の生活は窮地に追い込まれている。したがって、関心事はさらに深まり憂慮している事態。
- ・ バス路線再編後3年が経過したが、「デマンドタクシーは使いづらい」、「巡回バスをもとに戻してほしい」という切実な声は、途絶えるどころかますます大きくなっている。前区長が毎回窮状を訴えてきた。しかし、必要なところは手厚く、利用頻度の少ないコースは全面見直ししてデマンドタクシーで補完することは全会一致で承認されたものだとかたくなに固執されてきた。私自身前区長の思いをしっかりと引き継いでいかなければと思い、区長就任後、真っ先にこの現状を調査するため巡回バス利用アンケートをシニアクラブの協力のもと実施した。現在集計中であるが、記述設問の内容は切実なものが多く、深刻さは想像以上であることがわかってきた。次回会議に

おいて時間をいただき、その内容を報告させていただきたい。

- ・ 新町長の当選後の記者会見において、一丁目一番地の施策として「公共交通の充実」と毅然として述べられた。巡回バスの使いやすさを願いつけてきた人々にとっては待ちに待った朗報である。町内の交通難民は高齢者に限らず、高校生もしかりである。朝のラッシュ時に狭い町道での自転車通学は危険極まりない。郊外に住む小学児童の家庭で毎日の送迎は親の大きな負担となっている。巡回バスの設置目的にある交通空白地の解消、町内交流の促進活性化、及び住民生活の利便性の向上を十分組み入れた充実策の実現に向け、早急な取組を切に願います。

<会長>

- ・ 窮状は前区長からも聞いており、声は十分届いている。事実として、東コースの満足度も非常に下がっており、公共交通会議でも問題視している。ひとまずはデマンドタクシーの利用の周知、さらには今回施設送迎のバス活用について提案があり、何らかの対応を進めていくと認識している。諸輪地区から巡回バスのアンケートを実施し、それを会議で報告したいと発言があった。町は関係したのか。

<諸輪地区代表>

- ・ 諸輪シニアクラブの協力が得られたため、シニアクラブの500名弱を対象とした。

<会長>

- ・ 町がアンケートの内容を見たり、何か協力したりはしたか。

<諸輪地区代表>

- ・ していない。

<会長>

- ・ 住民主体で独自に実施したアンケートであるが、次回会議において報告してよいか。特に異論がなければ報告いただくとする。

※ 異論なし

<会長>

- ・ 東郷町に限らないが、公共交通に関係する者としては地域の方々に「利用が少ない」「このままではなくなってしまう」という情報を発信しており、「残すためには使ってください」「せつかくの資源を活用してください」とメッセージを出している。ところが、現実にはなかなか協力していただけない。なぜかという、車の方が便利だから。普段は困っている方の声は聞こえてこない。そうするとなくなってしまう。なくなって初めて「困った、どうしたらいいのか」となる。結局危機感がないと動けない。東西線も未来永劫続くとは限らない。理想は、せつかくある資源を活用することが何より大事で、皆が使うことで増えていく可能性がある。自分たちの地域の資源を育てていくという姿勢を持っていただくとうまくいく。育てていくにあたりここが困る、ここを何とかしたらもっと育てていくという議論ができればもっと充実した会議となる。この会議は補助金申請のための会議ではなく、地域にふさわしい公共交通を作り上げていくため

に話し合っで決める場である。

<祐福寺地区代表>

- ・ 諸輪地区とは状況が違い、現在困り事の集計をしているがその中には巡回バスの話は出てきていない。個人的な意見になるかもしれないが、車の方が便利。高齢者も自分で運転している。今日初めてこの会議に出席し、やはり年齢ごとに状況も変わるため、各世代の声をしっかりと反映させていくことが大事だと感じた。

<白土地区代表>

- ・ 白土地区については名古屋から若い世代の流入があり、世代交代を感じている。若い人は広報誌をもらって理解できるが、高齢者は回覧されてもほとんど見ないと思う。もっと身近に地区ごとや年代にわかりやすいきめ細かな広報が大事。名鉄バスが運行していることはわかるが、どこにつながっているのか、バス停に行けばわかるだろうがバス停まで行かない。巡回バスの乗り換えがわからない方がたくさんいる。きめ細かい広報をしていただきたい。部分的なものを頻繁に流すことで活用率があがるのではないか。

<会長>

- ・ 大事なことだと思う。全体にわかりやすい広報も大事だが、地域に根差した有益な情報を出していくということが大事である。すぐに実施とは言わないが、認識していただき他の自治体も参考にしてもらえれば。

<和合ヶ丘地区代表>

- ・ 自分は30代だが、普段地域の情報を何から得ているか考えたところ、インスタグラムの広告から得ていることが多い。現在和合ヶ丘の自治体を退会する方も増えてきている。また、東郷町の公式ラインを登録しているが、決まった時期に決まった内容が配信されている。もっと小出しに地域の情報を出しても良いかと思う。スマホですべてが完結する時代なので、活用を考えてほしい。

<瀬戸自動車運送(株) 取締役>

- ・ 瀬戸自動車運送(株)は、愛知つばめ交通(株)、名鉄西部交通(株)とともにデマンドタクシーを実施している。諸輪地区委員より「使いづらい」と意見があり大変ショックで、悲しい思いで聞いていた。現状、前年に比べ利用は増えている。「巡回バスのバス停まで歩いていけない」、「荷物を持って乗れない」という人から「ありがたい」と言われて乗っていただいている。本来なら、「この時間に行きたい」「10時に家につけてよ」と言ったら10時に家につけることがタクシーのサービスだと思うが、利用者が我々と一緒に話し合いながら「10時は難しいから10時15分ではどうか」と折り合いをつけながら利用している方が大勢いる。タクシー会社も利用者がいて成り立っている。他の自治体ではタクシー会社が辞めたり、倒産したり、廃業したりしているところがたくさんある。他の自治体に比べ東郷町のデマンドタクシーは使いやすく、良い制度であるため、タクシーでこの地をいっぱいに行きたい、残していきたいという思い

から発言させていただいた。

<会長>

- ・ 交通事業者に協力いただきながらデマンドタクシーを運行している。「使いにくい」という意見があったが、事実関係として「何が使いにくいのか」調べないといけない。その理由を明らかにして対応策をとっていくことが非常に重要。抽象的に使いにくいから巡回バスだ、ということであれば具体の一步が進まないため、今度のアンケートにおいてそこが見えてくるかと。周辺自治体との比較はあまりすべきではないが、東郷町のデマンドタクシーはかなり使いやすい。他の自治体は行ける場所や時間が限られており制約がある。あるものは活用していただきたい。

<事務局>

- ・ 各地区へバスマップを配布しているが、町内全域を記載したもので、縮尺としては見づらいものとなっている。巡回バスに限らず他の路線や、それぞれの地区に特化した詳細がわかるような情報を記載したバスマップを提供できれば、より巡回バスが住民の方にとって使いやすいものとなるのではないか。

<会長>

- ・ いずれにしても地域の方の声を聞きながら、改善できるところは改善し、よりよい公共交通を作り上げていきたい。

以 上